

# ゲンジボタル ホタル科

暗やみの中を、ふわりふわりと飛ぶゲンジボタルは、古くから日本人の心をとらえてきました。

ヘイケボタルは流れのない水田や湿地などに住んでいますが、ゲンジボタルは流れがあって、岸が土でできている小川や水路などにすんでいます。



写真提供：富沢 章氏

## 形態・生態

ゲンジボタルの胸は赤く、中央に黒い十字型のもようがあるのが特ちょうです。

オスの大きさは約1.5センチ、メスは約1.8センチくらいです。腹は7節に分かれ、オスは6節と7節、メスは6節だけが光ります。

幼虫はカワニナを食べて育ち、5～6回脱皮をして4月中旬頃に上陸し、土の中にもぐってサナギになります。5月下旬～6月に羽化して成虫となります。成虫の寿命は10日くらいで、その間にメスは川岸のコケなどに卵をうみつけ、一生を終えます。卵は2週間くらいでふ化します。

### 調べやすい時期（成虫）

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月

## 県内の分布

能登から加賀まで広く生息しています。平地から約400メートルの間にある山ろく沿いの小川や用水路にいます。

## 見つけやすい場所

片側には雑木林がある小川や水路で、川底に大小の石があり、流れの早さに変化のあるところにいます。川の岸は土になっていることが必要です。また、街灯のような人工的な明かりがあたるような場所にはすむことはできません。

## まちがいやすい種類

つかまえて、背中中の赤い部分を見るのが最もよくわかります。

	大きさ	背中中の模様	飛び方	光り方	すんでいる場所
ゲンジボタル	メス約1.8cm オス約1.5cm	 細い十字	 曲線的	 約2秒に1回	小川や水路 
ヘイケボタル	メス約1.2cm オス約1.0cm	 太いたて条	 直線的	 1秒に1～2回	水田や 浅い水たまり 